

資料4

学校施設の修繕について

1. リフレッシュ事業の進捗状況

- ・三河台小学校の外壁落下に伴う各学校のリフレッシュ事業と補助スケジュールなどについては6月議会文教福祉常任委員協議会で報告した。
- ・昨年9月議会で緊急性を考慮し補正予算を議決したが、国の補助が得られず未実施の状況である。
- ・教室・体育館照明のLED化補助も採択保留となり、夏休み期間を活用した工事が不可となっている。

2. 市の対応と情報収集

- ・市長が文部科学省の担当部局長へ事情を聴取し、早急な対応を求めた。
- ・教育委員会が県を通じて情報収集を行った。
- ・施設整備費は「施設整備負担金」と「環境改善交付金」の2種類である。
 - 今年度は施設整備負担金の割合が増加している。
 - その影響で環境改善交付金の採択保留が全国的に増加している。
- ・採択保留分は申請の約8割に及び、全国的にも大きな影響があった。

3. 補助スケジュールと事務手続き

- ・本来、4月下旬に内定通知を出し、入札・契約手続きを進める予定だったが、6月下旬に延期された。
- ・それに伴い、事務手続きをスライドして対応した。
- ・夏休み期間の最適な時期に工事、修繕ができないため、学校現場と調整し、児童の学びへの影響を最小限に抑える対応を進めている。
- ・6月下旬に文部科学省より2回目の採択の通知があり、36事業中9事業が採択された。

4. 今後の対応

- ・2回目で不採択となった27事業については、9月上旬に予定されている3回目に向け、再度計上を行う。
- ・あわせて、国の補正予算の活用を視野に入れ、財源の確保を図る。